

受験番号	氏 名

注意 字数が指定されている設問については、「、」「や」「。」も  
一マス使いなさい。答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

① 次のそれぞれの問いに答えなさい。(同じ記号は二度使わない)。

- ① 次の冒頭文に当てはまる作品名を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ② 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて紫だちたる雲の細くたなびきたる。
- ③ 春眠 曉 を覚えず 処 処 啼 鳥 を 聞 く
- ④ 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。
- ⑤ まだあげ初めし前髪まへがみの 林檎りんごのもとに見えしとき 前にさしたる花はな 櫛くしの 花ある君と思ひけり

- ア 走れメロス      イ 枕草子      ウ 初恋      エ 春暁  
オ 奥の細道      カ 竹取物語

② 次の熟語の構成として適当なものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 駐車    ② 徐行    ③ 盛衰    ④ 未来    ⑤ 終了

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。  
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの。  
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの。  
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。  
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

③ 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 稲穂がタれる。
- ② 武力でヨクアツされた社会。
- ③ テンケイ的な和風建築。
- ④ 瀬戸は有名なトウキの産地だ。
- ⑤ 静かなバンネンを過す。

② 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

⑦レトリックは、議場や裁判の場で、「よく話す」方法として開発され、それがしだいに体系化されていったものです。「よく話す」の「よく」とは、「説得力をもって」という意味です。つまり、レトリックとは「説得力」を意味したのです。腕力うでぢからで人を負かすのではなく、ことばで人を説き伏せると、これがレトリックでした。きわめて実践的な意味を持っていました。

奪われたものは、取り返さなければなりません。「目には目を」という力の行使ではなく、また、ただ泣き寝入りするのではなく、出るところに出て正々堂々と自分の言い分を述べるのです。あるいは、不当な訴えや無実の罪に対して身を守るために自己弁護をします。さらには、何が正義で何が悪かを大勢の人を前にして演説するのです。そのとき、ことばのなりゆきを左右したのは、「よく話す」ことでした。

(A)、説得術という、悪くいえば⑧だましのテクニックのように受け取られるかもしれませぬ。(B)、当時も、白を黒と言いくるめるような\*詭弁ぎべんとしてのレトリックもなかったわけではありませぬ。だけど、

それは本物のレトリックそのものが力を持っていた証拠です。効果的だったからこそ、悪用もされたのです。説得術の術とは、技術を意味しました。(C)、体系だった方法のことです。

説得術としてのレトリックは、より広くは、「弁論術」と理解されました。人前で話すときは、いつでも相手を説得することを目的としているとは限らないからです。(D)、英雄の死に対して弔いのことばを述べるのも、弁論の大切な一部でした。自由な発言が認められた社会では、なにかにつけて口頭による論、つまり弁論が重視されました。(弁論の弁は弁護士の弁にも受け継がれています。)この弁論の主軸が、説得術だったと考えていいでしょう。

この意味での弁論術は今日の社会にも見られます。みなさんの学校のクラブに弁論部があるかもしれません。また、弁論大会があります。「青年の主張」という形の弁論もあれば、学校の屋上で学生がグラウンドの仲間に向かって声を張り上げるテレビ番組もあります。なかなかいじらしかったりして、ときに人を感動させます。「よく話す」ことができた証拠です。政治家のずるそうな答弁よりも、うんとすがすがしいでしょう。

たしかにレトリックならぬトリックとして用いるものもありました。また、近年にいたつても、国民を大規模な戦争に向かわせる政治レトリックにも応用されました。⑨この意味で、レトリックは諸刃の剣もろやいばです。説得力が悪い方向に暴走しないように、知性による見張りが必要なのです。

いまレトリックの説得面を見ましたが、レトリックにはもう一つ大切な面があります。表現そのものの魅力です。レトリックといえは、むしろこちらのほうを先に思い浮かべる人が多いかもしれません。というのも、日本では説得術としてのレトリックは体系化されることはなく、もっぱら表現美を追求するレトリックに終始したからです。つまり、ことばのあや(あやどられた表現)に対する強い興味が中心でした。

ですから、日本のレトリックは、弁論術でも説得術でもなく、おもに、詩歌を対象とした修辞学でした。ふつうの、並みの、標準的な、中立的な表現に少し手を加えて、魅力的な表現を生む。こちらが中心でした。

⑩このレトリックは、悪口の対象になりやすいという弱みがあります。ことばを飾り立てるばかりで、実質的な内容が乏しいという批判です。とりわけ、現代のように、社会の中で文学のもつ力が落ちていく時代では、内容さえ伝わればそれでいいという風潮がいつそう強まるでしょう。

たしかにパソコンやケータイで伝えたい内容がやり取りされる社会では必要なのは正しい情報とスピードでしょう。さらに、多くのデータから必要な情報のみを素早く取り出す能力でしょう。情報に装飾をほどこすことなど、どちらでもいいというよりも、余計なことのようにです。さっさと言いたいことを言って、要するになんなの、という気持ち先走りします。

しかし、魅力的な表現を求めるレトリックは、少し別なところに力点を置いています。つまり、魅力は、美文や装飾に直結するのではなく、「より適切な表現」を求めるからです。より適切な表現には、美しい表現も含まれるでしょう。でも、それだけではありません。ある表現がより適切になるには、文脈を考慮して、伝えたい意味が過不足なくあらわされていなくてはなりません。

そのためには、表現手段としての言語素材をよく知ることです。言葉にはどんな仕掛けが用意されていて、どれだけの潜在的な活力があるのかを知ることです。この点を明らかにするのが、レトリックのもうひとつの仕事なのです。そして、レトリックのこの面は、第一の面と矛盾しません。より適切な表現は、説得力と結びつくからです。この点は、広告コピーなどによく現れるでしょう。

こう考えれば、広い意味のレトリックは次のように定義できます。

レトリックとは、(X)。

\* 詭弁：道理に合わないことを強引に言いくるめること。

(瀬戸 賢一『日本語のレトリック』)

① (A) ( ) (D) に入る語を次の中からそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

- (1) しかし (2) もちろん (3) たとえば (4) つまり (5) さて

② 「レトリックは、議場や裁判の場で、「よく話す」方法として開発され」とあるが、「よく話す」ことの具体例として適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- (1) けなげに思いをぶつける学生 (2) 机上の空論を話す弁護士  
(3) 権力をふりかざす政治家 (4) 修辞学だけに頼る小説家

③ 「①だましのテクニク」とあるが、同じ意味を表す言葉を本文中から四字で抜き出しなさい。

④ 「⑦の意味で、レトリックは諸刃の剣です」とあるが、どういうことか。本文中の語句を用いて、四十字程度で答えなさい。

⑤ 「⑤このレトリックは、悪口の対象になりやすいという弱みがありま<sup>す</sup>」とあるが、それはなぜか。適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- (1) 現代の情報社会において、表現美を追求することが求められていないから。  
(2) 現代の情報社会において、文学の持つ力が落ちる原因となった内容に乏しいものだから。  
(3) 魅力的な表現であり、適切で過不足のない文章を実現できるものだから。  
(4) 元々西洋で発祥したレトリックとは違う、日本独自の表現美を追求するものだから。  
⑥ (X) に入るものとして適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。  
(1) あらゆる話題に対して魅力的な言葉で人を説得する技術体系である。  
(2) あらゆる話題に対して説得力を持たせて人を説き伏せる技術体系である。  
(3) あらゆる話題に対して美しい装飾をして魅力的な文に変える技術体系である。  
(4) あらゆる話題に対して力を発揮する潜在的な活力をもつ技術体系である。

③ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

和菓子屋「みつ屋」でアルバイトをしている主人公梅本杏子は、女性店長の椿や男性店員の立花に支えられながらお菓子の試食や接客を通して和菓子の世界を知っていく。

三角形に切り出された平たい\*ういろは舌にひんやりとした感触を与えるし、その表面に散らされた小豆は程よい歯ごたえとほのかな塩気を残す。しかし華麗なデザインが多い上生菓子の中では、なんとも田舎臭いというか、普段使いのお菓子のようにも思える。

「なんかこれだけ、雰囲気違いますね」

私が首をかしげると、立花さんがじろりとこちらをにらみつけて一言。「縁起ものなんです」

「……食べると寿命が延びたりするんですか」

「立花くん、梅本さんが知らなくても無理ないわよ。もともとこれは京都の方の習慣なんだから」

椿店長はショーケースの内側に貼ってあるカレンダーを指さす。

「まず、六月を(A)って言うのは知ってるわよね」

「はい」

「一年は十二月。そうするとここは、ちょうど折り返し地点。そこで昔の人は『氷の節句』という日を設けて、無事に過ごせた半年の厄を払い、これから半年の無事を祈ってこのお菓子を食べたのよ。もともになった神事の名前は\*夏越祓で旧暦の六月一日、現在では六月三十日がその行事に当たるわ」

桃の節句とか端午の節句は知っていたけど、氷の節句なんてものがあつたとは。

「でも、なんで氷なんですか？暑いから？」

「ええ。実際、偉い人たちは暑氣払いに本物の氷を口にしたそうよ。けれど冷蔵庫なんてない時代だったから、一般の人々は氷を模したお菓子で

⑦ (B) 病息災を願ったの」

そっか。せめて気分だけでも氷を食べたかったんだね。私は昔の人に思いを馳せて、しみじみと(A)を味わった。

(中略)

開店早々、お客さんが来た。大学生くらいの女の子で、和菓子のお客さんとしてはちよつと珍しいタイプだ。彼女はショーケースをじつと眺めた後、⑧おもむろに私にたずねる。

「えっと、七夕のお菓子があるってきいたんですけど」

上生菓子の『星合』のことだ。私がケースを指して、黒い餡の地に透명한寒天が流されたお菓子を見せる。

「えっ？これが？」

彼女が驚くのも当然だ。だって普通七夕のイメージといたら、水色の天の川に黄色いお星様だろう。けれどこれは暗い色の中にぼつりと鳥が浮かんでいるという地味なデザインなのだ。

「どうしてこれが七夕なんですか？」

このお菓子を見たとき、⑨私も同じ質問を椿店長にした。そこで私は受け売りの知識を駆使して、お客さんに説明する。

「まず、黒いのは夜空です。星が浮かんでいないのは、まだ天の川が見えないから。そしてこの鳥はカササギ。織り姫と彦星が会うためには、カササギが橋を架けてあげなければいけません」  
うんうん、と彼女はうなずいてくれた。

「なのでこのカササギは、これから橋を架けに行く途中なんです」

「ああ、そういう意味なのね。最初は地味だと思ったけど理由を聞くとすぐロマンチック！」

ですよねー、と私もうなずき返す。

「織り姫と彦星が出会う前を表現しているなんて、珍しいと私も思います」ちなみに、星と星が出会うことから七夕は(C)とも呼ばれるんですよ。そう説明すると、彼女は指を二本立てた。

「じゃあこれ、二つ下さい」

「ありがとうございます。少々お待ちくださいね」

二つか。もしかしたら彼氏と二人で食べるのかな。そんなことを考えな

がら、私はふるふるとした漆黒の夜空を盆に載せた。ああ、そういえば私、㊦こんなことしたことがあるなあ。

あれは中学生の頃。バレンタインに告白するという友達のため、私は相手の男子を呼んでくることになった。相手は先輩だったから、三年生の教室をのぞき込むというドキドキまで加わって、なんだか大騒ぎだった。そしてわたしは彼女が校庭の桜の木の下で待っていることを伝えると、すぐさまその場を走り去って、今度は陰から二人を見守った。

告白はうまくいって、友達もすごく喜んでくれて万々歳って感じだった。でも、私は今でもあの時のことを思い出す。自分には告白したい相手なんていなかったけど、憧れてる人はいた。でも、この見た目じゃ問題外だと思っていたから、黙っていた。そんな私に、友達は「もし暇ならお願い」と声をかけてきた。だから友達のために走った。それだけの話だ。

悪い人は誰もいない。問題はどこにもない。なのに、㊧こんな気分になるのはなぜだろう。きつと、カササギにだって相手がいるはずなのに。一人で夜空を飛んでいるなんて。そう考えると、胸のどこかがちくりと痛んだ。

「お待たせしました」

お会計を済ませて箱を渡すと、彼女は「それにしても、ちよつと早いのよね」と笑った。けれど今日は七月六日。決して早くはないと思うのだが。

私が不思議そうな顔をしていたせいか、彼女は苦笑して言った。

「違つ。私が言っているのは旧暦の七夕だったから。ややこしくて、めんなさい」

「ああ、そういうことですか」

でも旧暦って今の暦からすると前だっけ、それとも後ろだっけ。私がひっそり悩んでいると、他の接客を終えた立花さんがやってきた。

「北海道や仙台など、旧暦で七夕をする地方も多いですね。当店では双方に対応できるよう、来月も七夕のお菓子を、ご用意しております」

そうか、後ろだった。確かに中華街の旧正月って、年が明けた後にやってた気がする。今月のお菓子を追いかけるだけで精一杯の私は、心の中でメモを取る。

「そうなんですか！ だったら私、来月も買いに来ますね」

彼女はみつ屋のパンフレットを引き抜くと、嬉しそうに帰って行った。

「八月にも七夕のお菓子があるんですね」

「東京では珍しいでしょうね。でも茶道をたしなまれたり和菓子を好まれる方の中には、旧暦を大切にされている方も多いですから」

すらすらとよどみのない口調に、完璧な知識。㊨立花さんは職人さん志望だと聞いたけど、私から見れば販売員の方が向いている気がする。

「そういえば、梅本さんは短冊書いた？」

レジ横の引き出しを開けて、椿店長が私の前に小さな色紙を差し出した。

「あ、まだですけど」

「じゃあ、せっかくだからこれ書かない？ 旧暦に従って来月まで飾っておくから」

ショーケースの端に置かれた、小さな笹かき。それにはすでに数枚の短冊が下げられている。

願い事か。この間までなら就職だったけど、とりあえずそれは叶ったし、次に願うとしたら痩せることかなあ。

(いやいやいや！ 痩せるのは願い事じゃなくて努力だから！)

私は短冊をポケットにしまうと、とりあえずそれを封印した。

\*ういろう…米の粉に砂糖などを加えて蒸し上げた菓子のこと。

\*夏越祓：陰暦六月の晦日みせかに、半年間の罪や汚れを清めるため

に行う神事。

(坂本 司『和菓子のアン』)

① (A) に入る六月の旧暦の名前(異名)を漢字で答えなさい。

② ㊦(B)「病息災」について、(B)に入る漢字を次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 不 (2) 無 (3) 亡 (4) 非 (5) 否

③ 「㊩おもむろに」とは、どのような意味か。次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 突然 (2) すぐさま (3) ゆっくりと (4) 軽やかに

④ 「㊪私も同じ質問を椿店長にした」とあるが、それはなぜか。本文中の語句を用いて、五十字以内で答えなさい。

⑤ (C) に入る適当な語句を本文中から漢字二字で抜き出しなさい。

⑥ ㊫「こんなこと」とは、どのようなことか。その説明として適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 好きな人に告白をするために、勇気をふりしぼり懸命に盛り上げて動き回ったこと。

(2) バレンタインに告白する友達のために、自分の思いはあきらめて男の子を呼び出し二人の幸せを願ったこと。

(3) 織り姫と彦星のため一人で夜空を飛ぶカササギのように、思い合う二人を出会わせる手助けをしたこと。

(4) 年に一度しか会えない織り姫と彦星のように、運命の相手に出会うため走ったこと。

⑦ 「㊬こんな気分になる」について、「こんな気分」とはどのような気分か。その説明として適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 誰かのためにだけ動くことが切なく辛いと思っている。

(2) 思いが叶って恋人になることをうらやましく思っている。

(3) 自分の行動で他者が幸せになることを不安に思っている。

⑧ 「㊭立花さんは職人さん志望だと聞いたけど、私から見れば販売員の方が向いている気がする」について、「私」がどのように考えるのはなぜか。三十字以内で答えなさい。

⑨ 本文の内容として適当でないものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 旧暦は、現在の暦からすると一カ月ほど後ろにずれている。

(2) 和菓子には、華やかなデザインの上生菓子が多く、日本の伝統文化や物語が表現されている。

(3) 梅本杏子は、和菓子のことを学ぶ中で自分の過去や昔の人に思いを馳せている。

(4) 椿店長は、氷の節句や七夕などの日本の文化よりも和菓子を大切にしている。

4 あなた自身の「中学三年生」を振り返って、自由に漢字一字で表し、その漢字にした理由を二二〇字程度で書きなさい。

受験番号	氏 名
------	-----

1

I

II

III

2

①

②

③

④

⑤

3

①

④

⑤

⑧

⑨

4

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	4	漢 字 一 字
	A	B	C	D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		

